



さいじょう

平成30年(2018)5月1日発行

市議会だより

第58号



たおやかに しなやかに
観音堂(禪祥寺)の藤



副議長 高橋 章 哲



議 長 児 玉 千 春

高 児 橋 玉 章 千 哲 春 副議長 議長 を選出

正副議長就任挨拶

私どもは、2月臨時会において西条市議会議長並びに副議長の重責を担うことになり、改めて身の引き締まる思いであります。

今日の地方自治体は、行政と議会が切磋琢磨し、自立した自治体経営と地域の実情に応じたまちづくりが求められています。二元代表制の一翼を担う議会は、行政監視はもとより政策提案を通して、市政の発展に寄与していかねばなりません。

こうした中、本市議会では、平成29年2月に施行した「西条市議会基本条例」に基づき、本年から議会報告会を実施いたします。地域に赴き、市民の皆様の意見やお考えに直接耳を傾け、行政に求められていることを的確に把握し、市政に反映していくことによって、市の発展と市民福祉の向上につそう努めて参る所存であります。

今後とも、本市が標榜する「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に向けて全力でその職責を果たして参る所存であります。また、公正かつ円滑な議会運営と更なる議会の活性化に向け誠心誠意、努力して参りますので、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年 2月臨時会

正副議長を新たに選出しました

2月19日に開会された平成30年第1回2月臨時会において、正副議長の選挙、常任委員会及び議会運営委員会委員の選任、同正副委員長との互選など、議会の組織構成に関する議事が行われたほか、市長から提案された議案1件の審議が行われました。

議長選挙
(本会議場)

正副議長退任挨拶

就任以来、市民に開かれた議会の構築、常任委員会の傍聴促進、市議会だよりの充実、市議会フェイスブックの開設など、議会改革を進めて参りました。大過なく重責を全うできましたことは、ひとえに皆様がたのご協力とご支援のたまものであり、深く感謝を申し上げます。

今後も、この経験を生かし、議会の役割をしっかりと果たして参りたいと考えておりますので、なにとぞご指導を賜りますようお願い申し上げます。



前副議長 岡村 重 治



前議長 伊 藤 孝 司

2月臨時会における議案などの審議結果

議案等番号	件 名	議決結果	議案等番号	件 名	議決結果
議案第1号	西ひうち埋立整備工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について	原案可決		各常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査事項の決定について	原案可決
選挙第1号	西条市議会議長の選挙について	投 票	選任第3号	西条市議会臨海地域振興整備特別委員会委員の補欠選任について	議長指名
選挙第2号	西条市議会副議長の選挙について		選任第4号	西条市議会水資源調査特別委員会委員の補欠選任について	
選任第1号	西条市議会常任委員会委員の選任について	議長指名	選任第5号	西条市議会議会活性化推進特別委員会委員の補欠選任について	
選任第2号	西条市議会議会運営委員会委員の選任について				

新しい議会構成が決まりました

◎委員長 ○副委員長

総務委員会

●経営戦略部、総務部、企画情報部、財務部、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項の調査・審査を行います。
(委員8名)

◎岡村重治 井上浩二

○藤井武彦 青野貴司

真鍋顕伸 一色輝雄

黒川理恵子 藤田節雄

福祉文教委員会

●保健福祉部、教育委員会の所管に属する事項の調査・審査を行います。
(委員8名)

◎西坂 壽 川又由美恵

○御荘秀樹 越智俊幸

城戸 力 児玉千春

山地美知一 伊藤孝司

環境消防委員会

●市民環境部、上下水道部、消防の所管に属する事項の調査・審査を行います。
(委員7名)

◎越智絹恵 坪井 剛

○佐伯利彦 高橋章哲

今井廣一 伊藤新平

行元 博

産業建設委員会

●産業経済部、農林水産部、建設部、農業委員会の所管に属する事項の調査・審査を行います。
(委員7名)

◎高橋 保 武田 功

○臼坂 均 楠 學

佐々木充 堀江幸二

三好和彦

議会運営委員会

●議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項や議長の諮問に関する事項及び議会広報に関する事項について、調査・審査を行います。
(委員10名)

◎行元 博 一色輝雄

○武田 功 楠 學

岡村重治 堀江幸二

越智絹恵 藤田節雄

青野貴司 伊藤孝司

特別委員会

特別委員会委員の辞任に伴い、委員の補欠選任と副委員長の互選を行いました。

臨海地域振興整備特別委員会

副委員長 坪井 剛
(互選)
委員 藤井 武彦
(補欠選任)

水資源調査特別委員会

委員 行元 博
(補欠選任)

議会活性化推進特別委員会

副委員長 臼坂 均
(互選)
委員 山地美知一
(補欠選任)
委員 越智 絹恵
(補欠選任)



平成30年第2回3月定例会

平成30年第2回3月定例会は、2月27日に開会し、会期21日間をもって3月19日に閉会しました。

この間、市長提出の議案57件を審議し、定例会最終日の3月19日には、議案などの採決を行いました。

3月定例会では、3月5日から3月7日までの3日間、3会派の代表者が代表質問を、議員14名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、4ページから9ページにかけて掲載しています。

自民クラブ

伊藤 孝司 議員



- (代表質問)
- 1 平成30年度に向けての市長の所信について
 - 2 少子高齢社会への対応について
 - 3 空き地・空き家対策について

平成30年度をホップの年と位置付ける市長の思いは

問

市長は、平成30年度をこれまで加速した助走を生かし力強く大きくホップする1年としているが、市長就任後2度目の当初予算を編成するに当たり、どのような思いを込めたのか。また、具体的な取組内容はどのようなものか。

答

市長就任1期目の4年間を陸上競技の三段跳びにたとえ、平成29年度を大きく力強くホップするため助走を加速させる1年と位置付け、市民福祉の増進に向けた体制づくりと市職員の意識改革に特に重点を置いて取り組んできた。

2年目となる平成30年度は、助走により蓄えた推進力を生かし力強い一步を踏み出すため、一つ上を目指す「ONE UP」をキャッチフレーズに、芽が出始めたさまざまな案件について、更なる進展を図ること、地域経済や都市ブランドの底上げ、ひいては市民生活の底上げを実現するホップの年にしたいと考えている。代表的な事業としては、ス



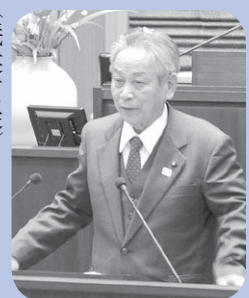
シティプロモーションのキャッチフレーズ・ロゴマーク

マートシティ西条の実現に向けて、学校教育現場におけるICT化をはじめ、健康福祉の増進、子育て支援、高齢者見守り支援、総合支所窓口における聴覚障がい者支援など、市民生活と直結する分野でのトライアル事業に取り組んでいきたい。

更には、全市域における地域自治組織の設立を目指したモデル地区の設置及び活動支援、市内全ての小・中学校と公立幼稚園へのエアコン設置など、市民が安心・安全・幸せを実感できるための政策の基礎固めを行い、これを基に加速度的に政策を推進する次のステップへとつなげていきたい。また、シティプロモーションを強力に推進し、西条で暮らすことの誇りや愛着をこれまで以上に醸成し、併せて市の知名度向上を図ること、西条という選択をしてもらえるよう努めたい。

今後とも、効率的・効果的な行政運営に努め、全ては市民のためと肝に銘じて「ワクワク度日本一のみち西条」の実現に向けて全力で取り組んでいきたい。

堀江 幸二 議員



- (議案質疑)
- 1 小・中学校施設長寿命化計画策定事業について
 - 2 小松温芳図書館改修事業について
 - (一般質問)
 - 1 国等との連携協力について
 - 2 公共施設について
 - 3 市営住宅について

木造市営住宅に対する耐震化の考えは？

問

市内には、昭和40年代までに建設した木造の市営住宅が数多くあり、これらは旧耐震基準の建物である。今後、発生が予測される南海トラフ巨大地震への備えとして、市民の生命と財産を守る観点から、木造市営住宅の耐震化について、どのように考えているのか。



木造市営住宅

答

市内49団地1千675戸の市営住宅のうち、10団地199戸が昭和40年代までに建設された木造住宅であり、現在、119世帯が入居している。木造の市営住宅は、旧耐震基準の建物であり、現在も耐震化は図られていない。建設年数も古く、屋根や壁、設備など全てが老朽化しており、耐震化工事のみを実施しても効果が見込めないため、西条市公営住宅等長寿命化計画の中で、用途廃止もしくは建て替えるの対象として位置付けている。

計画策定以降、用途廃止を予定している団地の入居者については、順次、他の住宅への移転を進めており、今後も継続して移転を進めていく予定である。

坪井 剛 議員



1 (一般質問)
地域経済の持続的な発展に向けた取組について

地域経済の成長を牽引する
新たな産業の創出を！

問

平成28年12月に認定された地域再生計画「地域産業資源を活用した競争力強化・新産業創出プロジェクト」に基づき、どのような取組がなされているのか。

答

本プロジェクトでは、地方創生推進交付金を財源にさまざまな事業を実施している。CLT（直交集成板）については、国内初の原木から最終製品までの一貫生産工場が3月16日に竣工するとともに、販路開拓のため販売会社が設立され、今後、販路拡大に向けた取組を行う。

また、水素関連事業に取り

組む企業に対しては国の補助制度を活用した設備投資支援を行うとともに、四国経済産業局が行う次世代燃料・電池システム創出支援事業と連携し、販路開拓や新技術開発につなげようとする組んでいる。

これらのほか、国の補助制度を活用した医療・医薬品関連の設備投資支援、石鎚黒茶の正当な保存・伝承、更にベトナムビジネスサポートデスクによる各種情報提供やマッチング支援などを行っている。

井上 浩二 議員



1 (一般質問)
消防団体制について

消防団機能の
充実強化を！

問

発生の確率が高まっている南海トラフ巨大地震

震に対応できるよう、合併以

来、更新されていない小型動力ポンプなどの更新計画策定について、どのように考えているのか。

また、大規模災害に備え、消防団の活動拠点である消防団蔵置所の耐震化や機能拡充を進め、地域の防災力を高める必要があると思うが、今後、どのように取り組むのか。

答

更新年数が決まっていなかった小型動力ポンプや資機材搬送車などは、平成29年度に協議した結果、更新年数の基準が27年となり、平成29年12月に消防団車両等更新整備計画を見直したところである。

また、市内に108か所ある消防団詰所・蔵置所などの消防団施設の整備については、長期的な視点や地域の実情を踏まえた更新整備計画の策定が必要と考えている。よって、消防団幹部で構成される消防団活性化委員会などの意見を基に、全消防分団の蔵置所・詰所更新整備計画の策定に向け、平成30年度から具体的な検討を進めていきたい。

黒川 理恵子 議員



(議案質疑)
1 道前クリーンセンター整備事業について
(一般質問)
1 子育て世代包括支援センターについて

新しいごみ処理施設と
将来のごみ排出量の
想定は？

問

道前クリーンセンターの更新に当たり策定される施設整備基本構想では、具体的にどのような型式や手法の焼却炉を想定しているのか。また、施設の完成は早くても8年後とのことであるが、施設整備基本構想は、施設完成時におけるごみの排出量を想定して策定されるものと思われる。こうした中、8年後におけるごみの排出状況をどのように想定しているのか。

答

処理方式に合わないごみの処理には専用施設が必要となるため、焼却炉方式は、基本構想の中で検討したい。施設の更新には8年から10年を要するため、廃棄物の状況は、その間の人口減少、ごみの削減、資源化への取組などが影響する。本市は、平成32年度に平成27年度比約7・8パーセントのごみを削減する目標があるほか、平成43年度までのごみ削減量を推計していることから、これらを基に基本構想を策定したい。

問

消防団では、消火活動をはじめ行方不明者の搜索、更には技術力向上を図る操法大会への参加など、年間を通し、地域を守る活動が行われているが、どのような経緯で消防団員の活動服を更新するに至ったのか。また、今後、活動服の更新整備計画を策定する必要があるのではないか。

答

平成26年に消防団の装備の基準と消防団員服制基準が改正されたことにより、現在、全国はもとより県内においても活動服の更新が進められている。本市の活動服は、平成17年度の配備から12年が経過しており、経年劣化も著しいことから、今回、改正された消防団員服制基準に基づく活動服を全消防団員に更新配備することにした。活動服は、災害活動時において重要なものと考えており、今後は、被服の損傷程度や経年劣化などを見据え、消防団員の身体保護を念頭に柔軟な対応が図られるよう、更新整備計画の策定について検討していきたい。

三好和彦議員



(議案質疑)

- 1 結婚支援事業について
- 2 消防団装備整備事業について

消防団員活動服

更新整備計画の策定を！

西条自民クラブ

楠 學 議員



(代表質問)

- 1 本市の将来像に関する市長の考え方について
- 2 財政運営について
- 3 国際交流について
- 4 名誉市民の顕彰について

市長が描く

本市の将来像は？

問

我が国は極端な超少子高齢社会を迎えるとともに、地方都市を中心に、かつて経験したことのない急激な人口減少の流れが押し寄せている。国土交通省の人口予測によると、1平方キロメートルごとに分けた全国の18万地点で見ると、2050年には約6

割で人口が半分以下になり、約2割に当たる3万6千地点では、もはや住む人さえいなくなるという厳しい調査結果も公表されている。

2040年には本市の人口が9万8千384人と10万人を割り込む数値が推計されており、人口減少の流れが進むとともに市民生活は大きく変容してくるものと思われるが、市長の現在の任期である2020年に向け、市長自身は本市のあるべき姿をどのように捉えているのか。また、急激な人口減少が予想される2040年の将来都市像をどのように描いているのか。

答

市長就任以来、5つの基本政策と具体的施策の実践を通じ、市民の満足度を向上させたい、全世代の人に西条を選んでもらいたいという思いから「ワクワク度日本一」のまち西条の実現を目指して」という言葉を発信してきた。今任期中は、この思いを絶やすことなく走り続け、3年後に多くのかたから西条を選択していただくことができるよう、特に子育て世代や若者に重きを置いた施策を推進するとともに、生産年齢人口の確保を図り、地域における人と仕事の好循環を創出したい。

2040年に向けた将来都市像についても、自治体のトップとして将来を見据えていかなければならないと考えており、20年後、30年後における本市の現実的な姿をしっかり直視することが重要だと感じている。

まずは1期目の任期を全力で駆け抜けることに重点を置き、一つでも多く市民との約束を果たすことができたと言えるよう基本政策の実践に努めていきたい。



ワクワク度日本一のまち西条を目指して

川 又 由美恵 議員



(一般質問)

- 1 交通弱者対策について
- 2 男女共同参画について

意思決定の場へ
更なる女性の参画を！

問

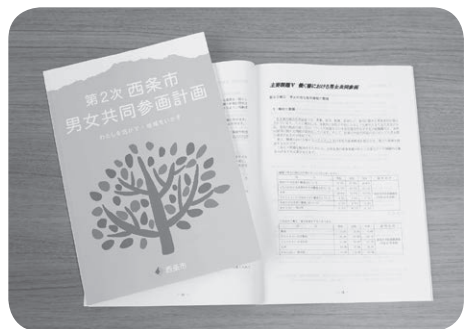
第2次西条市男女共同参画計画では、市民一人一人が性別に関わりなく、個人として尊重され、その個性と能力を発揮することができ、社会を目指すとの理念が示されている。しかし、平成26年に実施した市民の意識調査では、男女の地位の平等感について「男性のほうが優遇されている」との回答をした人が約74パーセントに及んでいる。意思決定の場への女性の参画は、まだ低い状況にあると思われるが、市の審議会や管理職などに女性を登用することについて、どのような

に考えているのか。

答

審議会などに女性委員を積極的に登用するため、委員公募制の導入や、充て職などの見直しを行っている。また、女性職員については、活躍推進に向け、研修機関や国・県などへの派遣を通じて、昇任に必要な意欲と能力の向上、多様なキャリア形成の支援などに取り組んできた結果、管理職への登用率は上昇している。

これからのまちづくりには、女性の視点による発想や価値観を施策に反映していくことが求められており、今後とも西条市男女共同参画計画に基づき女性の活躍を推進していきたい。



第2次西条市男女共同参画計画

藤 井 武 彦 議員



(議案質疑)

- 1 農業研修受入促進事業について
- 2 いじめ相談窓口について

需要高まる加工・業務用野菜

総合6次産業都市の

今後の展開は？

問

近年、生活スタイルの変化により加工調理食品の導入が増加し、国産加工・業務用野菜の更なる生産・供給が必要とされているが、どのように推進するのか。また、加工・業務用野菜を栽培する生産者の所得を向上させるには、加工品の販路確保と拡大が必要と思うが、どのように推進していくのか。

答

近年、国産の加工・業務用野菜に対する需要が高まっていることから、生産拡大に向け、国・県の機械化支援事業を活用するほか、裏作に対する市独自の助成制度を創設するなど、総合6次産業都市の推進に重点をおいた事業を展開していきたい。

加工品の販路は、市内の野菜加工事業者が独自のネットワークで拡大を図っているほか、市としても、マッチングフェアや個別商談会などの情報発信を行い、新たな顧客獲得に向けた支援を行っている。今後も、総合6次産業都市推進事業を継続的に推進するとともに、攻めの姿勢で農工商連携や地産外商に取り組みたい。



玉ねぎ収穫の様子

西条市民

クラブ

岡 村 重 治 議員



(代表質問)

- 1 平成30年度施政方針及び当初予算について

リニューアルの方針は？

石鎚山ハイウェイオアシス

問

石鎚山ハイウェイオアシスは平成11年のオープン以来、数度の改修を行ってきたが、リピーターなどが少なく来訪者数の低迷を余儀なくされている。

今後、石鎚山がもたらす水にまつわる自然・文化・観光資源を活用し、来訪者や地域住民のアウトドア活動促進による地域観光の活性化を図ることであるが、リニューアルの方針をどのように考えているのか。

答

石鎚山ハイウェイオアシスは、アウトドア活動促進のための拠点施設としてリニューアルを進めており、再活性化を目指すには、①ビクターセンター機能の整備、②アウトドア用品売り場の整備、③オアシス館に隣接するおあしす市場の改修といったハードとソフトの両面の充実が必要であると考えている。本施設を石鎚山系の表玄関口、アウトドア活動のハブ拠点として確立することで、本施設への来場者の増加のみならず、市内におけるアウトドア関係のサービス産業の創出や宿泊などのサービス産業の収益拡大につながる施設にしていきたい。



リニューアル予定の「石鎚山ハイウェイオアシス館」と「おあしす市場」

佐伯利彦 議員



(一般質問)
1 児童・生徒への学習支援について

地域未来塾の活用 子どもたちに学習支援を！

問

基礎学力や学習習慣が定着していない子どもたちに対する学習支援について、どのように考えているか。

答

本市では、放課後や週末、夏休みなどに市内3公民館において、文部科学省が推進する地域協働学校活動の一つである地域未来塾を実施している。現在、全学的な取組となるよう学習指導課程者の人材確保に努めており、地域未来塾が学習支援の受け皿となれるよう、関係部署と連携して学習機会の提供を進めていきたい。

佐々木 充 議員



(一般質問)
1 AI（人工知能）について

今こそAIの活用を！

問

近年、AI研究は、さまざまな進歩を遂げている。こうした中、行政や教育現場においては、多くの情報を迅速かつ効率的に収集し、活用しようとする今こそ、最先端技術であるAIの活用について考える必要があると思うが、どのような見解か。

答

AIは、地域課題の解決を図る効果的なツールと認識している。今後、AIを含めたICTの利活用や業務改善に関する調査・研究に取り組むワーキンググループを設置し、活用の可能性について検討していきたい。

公明党
西条市議員団

越智絹恵 議員



(議案質疑)
1 心身障害者福祉費について
(一般質問)
1 小・中学校での心肺蘇生教育について
2 指定ごみ袋について

心肺蘇生教室を推進し 安全な学校環境の構築を！

問

突然の心肺停止から児童・生徒の命を救うため、心肺蘇生法の普及にどのように取り組んでいるのか。

答

AEDを活用した心肺蘇生法講習を小・中学校で実施することで、自ら命を守る意識を高めていきたい。

城戸 力 議員



(議案質疑)
1 道前クリーンセンター整備事業について
2 地域力創造アドバイザー活用事業について
3 アウトドア活動拠点施設整備事業について
4 消防団装備整備事業について
(一般質問)
1 高齢者単身世帯への支援について

高齢者を社会全体で 支えるしくみ作りを！

問

独り暮らし高齢者を地域でどう支援するのか。

答

生生活支援コーディネーターを中心に支援の担い手となる見守り推進員の養成など、孤立を防ぎ、地域で支援するしくみを作りたい。

日本共産党 西条市議員団

青野 貴 司 議員



(一般質問)

- 1 広島高裁による伊方原発運転差し止めについて
- 2 教員定数増による負担軽減について
- 3 侵略戦争の反省が欠落している安倍首相について

改憲阻止！守れ日本国憲法

問

安倍首相の改憲発言は、憲法尊重擁護義務を踏みにじるものだが、市長には憲法を守る決意があるのか。

答

憲法改正については、主権者たる国民が決めることであり、幅広く国民全体で議論を深めていくべきで

あると認識している。

山地 美知一 議員



(議案質疑)

- 1 ローカルベンチャー誘致・育成事業について
- 2 地域農業について
- 3 貧困対策について

貧困層への影響は？

生活扶助費の減額見直し

問

2018年10月に国の生活扶助費が減額予定だが、貧困層の拡大防止について、どのように考えているのか。

答

現在、具体的な生活扶助基準の見直し額が示されていないため、今回の見直しにより、本市の生活扶助費の影響額は試算できていないが、国の基準を適用したいと考えている。

会派に 属さない議員

真鍋 顕 伸 議員



(議案質疑)

- 1 ローカルベンチャー誘致・育成事業について
- 2 企業誘致対策事業について

積極的な企業誘致を！

問

企業立地促進奨励金の予算が昨年度と比較して増額になっているが今後の産業振興をどう考えているか。

答

立地企業の留置対策として事業継続強化事業を奨励措置の対象とするほか、工場立地法に係る緑地及び環境施設面積率の規制緩和を行うなど、引き続き積極的な産業施策に取り組んでいきたい。

特集記事

議会活性化推進 特別委員会

平成30年3月定例会最終日(3月19日)の本会議において、調査中の事件について、平成29年9月定例会に引き続き2回目の「中間報告」がありました。

報告の要旨

本委員会は、これまで15回にわたり委員会を開催し、議会基本条例に基づきながら、現行の議会運営の検証に努め、議会の活性化に関する調査・研究を進めてきました。

その中で、議会報告会の開催に関する協議としては、まず本市議会における議会報告会の在り方について議論いたしました。内容としては、行政視察で調査を行った先進市議会においても、さまざまな取組の下、うねりを経て、現在に至っていることから、これまで検討を重ねてきた西条市議会報告会実施要領(案)に基づき、まずは、議会報告会を実施すべきであるとの結論に至り、その旨、議長に答

申書を提出しました。

また、タブレット端末の導入に関する協議としては、各会派などの意見や県下の状況、導入に必要な経費などについて調査するとともに、検討に当たっては、その専門性からタブレット端末の事情に明るい議員を中心としたタブレット端末導入研究会を設置し、より詳細な議論を進めてきました。同研究会からは、研究結果として報告書が提出され、協議の結果、報告書に基づきタブレット端末を導入すべきとの結論に至り、その旨、理事者に申し入れるよう議長に答申書を提出しました。

以上のほか、本委員会では、予算案の審査方法や市長答弁に対する追跡調査について、検討を重ねており、先進市議会などの取組を調査するとともに、各会派などにおける意見を聴取しながら、議論を深めているところでもあります。今後は、これまでの取組を一度振り返り、評価・検証を行った上で、これから進むべき新たな方向性を定め、引き続き、更なる議会改革に向けて取り組んでいきます。

常任委員会審査レポート

福祉文教委員会

本委員会では、付託議案16件について、3月9日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査の過程では、①スマートフォンを活用した高齢者の見守りについて位置情報が悪用されるおそれはないのか、②すみれ荘の改修によって入所費用は変更されるのか、③医師確保奨学金の貸付金を増額した理由、④考古歴史館内展示物の今後の整備に対する考え方など、予算案や条例案に係る質疑と討論が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案16件を原案のとおり可決すべきものと決しました。



石鎚クライミングパークSAIJ0の現地調査

総務委員会

本委員会では、付託議案14件について、3月9日に書面審査を行いました。

審査の過程では、①ふるさと納税における返礼品の考え方、②がん検診受診費用を徴収するに至った理由、③西条うちぬき倶楽部の今後の活動方針、④マイナンバーカードの発行状況、⑤ローカルファンド推進事業における選考評価委員会と行政の関わり方、⑥移住促進事業の内容と成果目標、⑦高齢者交通アドバイザー事業の効果、⑧愛媛県地方税滞納整理機構による強制的な資産の売却や差し押さえに対する市の考え、⑨県下における指定金融機関の輪番制の採用状況、⑩西条市立診療所設置及び管理条例の一部改正に当たり、これまでどのように診療報酬を算定していたのかなど、予算案や条例案などに係る質疑と討論が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案14件を原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業建設委員会

本委員会では、付託議案12件について、3月12日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査の過程では、①農業研修受入促進事業の具体的な実施方法、②継続した有害鳥獣対策の必要性について、③ローカルベンチャー誘致・育成事業における拠点施設に対する考え方、④アウトドア活動拠点施設の運営の在り方、⑤危険空き家の除去実績と指導方法など、予算案や条例案に係る質疑が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案12件を原案のとおり可決すべきものと決しました。



石鎚山ハイウェイオアシスの現地調査

環境消防委員会

本委員会では、付託議案13件、請願1件の計14件について、3月12日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査の過程では、①道前クリーンセンターの更新に係る総事業費について、②女性消防職員の採用に対する市の考え方、③消防団の活動拠点である蔵置所の耐震化の現状など、予算案や条例案に係る質疑が行われました。

これらの審査の後、採決を行い、議案13件を原案のとおり可決すべきものとし、請願1件は不採択とすべきものと決しました。



ひうちクリーンセンターの現地調査

3月定例会における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第2号	平成29年度西条市一般会計補正予算(第12回)について	原案可決	議案第32号	西条市個人情報保護条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	平成29年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)について		議案第33号	西条市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第4号	平成29年度西条市介護保険特別会計補正予算(第3回)について		議案第34号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について	
議案第5号	平成29年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第4回)について		議案第35号	西条市庄内財産区管理条例の一部を改正する条例について	
議案第6号	平成29年度西条市港湾上屋事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第36号	五百亀記念館設置及び管理条例の一部を改正する条例について	
議案第7号	平成29年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第4回)について		議案第37号	西条市こども医療費助成条例等の一部を改正する条例について	
議案第8号	平成29年度西条市壬生川財産区特別会計補正予算(第1回)について		議案第38号	西条市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	
議案第9号	平成29年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2回)について		議案第39号	西条市介護保険条例の一部を改正する条例について	
議案第10号	平成30年度西条市一般会計予算について		議案第40号	西条市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第11号	平成30年度西条市国民健康保険特別会計予算について		議案第41号	西条市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第12号	平成30年度西条市介護保険特別会計予算について		議案第42号	西条市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営等の基準等を定める条例の一部を改正する条例について	
議案第13号	平成30年度西条市簡易水道事業特別会計予算について		議案第43号	西条市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について	
議案第14号	平成30年度西条市公共下水道事業特別会計予算について		議案第44号	西条市国民体育大会施設整備基金条例を廃止する条例について	
議案第15号	平成30年度西条市港湾上屋事業特別会計予算について		議案第45号	西条市小規模下水道条例を廃止する条例について	
議案第16号	平成30年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計予算について		議案第46号	医療保健施設の整備に関する条例を廃止する条例について	
議案第17号	平成30年度西条市土地開発事業特別会計予算について		議案第47号	平成30年度西条市一般会計補正予算(第1回)について	
議案第18号	平成30年度西条市小松地域交流事業特別会計予算について		議案第48号	西条市職員退職手当条例の一部を改正する条例について	
議案第19号	平成30年度西条市本谷温泉事業特別会計予算について		議案第49号	平成29年度西条市一般会計補正予算(第13回)について	
議案第20号	平成30年度西条市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について		議案第50号	平成30年度西条市一般会計補正予算(第2回)について	
議案第21号	平成30年度西条市畑地かん水事業特別会計予算について		議案第51号	教育委員会委員の任命について	同意
議案第22号	平成30年度西条市庄内財産区特別会計予算について		議案第52号	人権擁護委員候補者の推薦について	異議なし
議案第23号	平成30年度西条市壬生川財産区特別会計予算について		議案第53号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第24号	平成30年度西条市後期高齢者医療保険特別会計予算について		議案第54号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第25号	平成30年度西条市水道事業会計予算について		議案第55号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第26号	平成30年度西条市病院事業会計予算について		議案第56号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第27号	財産の処分について		議案第57号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第28号	西条市指定金融機関の指定について		議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦について	
議案第29号	西条市立小中学校・幼稚園空調設備整備PFI事業者選定審査会条例について		請願第3号	「年金支給の毎月払い」「年金支給開始年齢の引き上げは行わないこと」を求める請願	不採択

議員別議案等賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案などの賛否状況を掲載しています。(現議員数30名)

議員名 議案等 (賛成：反対)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	真鍋 顕伸	佐々木 伯彦	佐伯 力	城戸 保	高橋 武彦	藤井 和好彦	三好 理恵子	黒川 廣一	今井 浩二	井上 秀樹	御庄 美知一	山地 重治	岡村 智恵	越智 由美恵	川又 元博	行元 均	臼坂 剛	坪井 剛	西坂 壽	越智 俊幸	高橋 章哲	青野 貴司	武田 功	児玉 千春	一色 輝雄	楠 學	伊藤 新平	堀江 幸二	藤田 節雄	伊藤 孝司
議案第10号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議長	○	○	○	○	○	○
議案第11号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第12号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第20号	28:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第24号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第26号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第32号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第33号	26:3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○
議案第38号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第39号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第40号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第41号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
議案第42号	27:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		○	○	○	○	○	○
請願第3号	3:26	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×		×	×	×	×	×	×

※ ○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対
※ 児玉千春議員は、議長職のため表決に加っていません。

教育委員会委員の任命

教育委員会委員に、

河本 千恵子氏

を任命することに同意しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、

柳川 五郎氏

徳永 正氏

井門 喜代美氏

宮内 哲彦氏

今井 幸氏

加藤 美江氏

黒河 敦子氏

を推薦することに異議ないものとなりました。

請願

3月定例会における請願の審査状況は、次のとおりです。

【不採択】

・「年金支給の毎月払い」「年金支給開始年齢の引き上げは行わないこと」を求める請願



平成30年度

西条市議会報告会を開催します

議会での審議内容を報告し、市民の皆さんと意見交換を行います。

日時

平成30年5月26日（土）
19時から21時

場所（2か所同時開催）

東会場…市庁舎本館5階
大会議室西会場…東予総合福祉センター
1・2階会議室

※各会場定員100名程度

内容

- (1) 議会のしくみについて
- (2) 平成30年度当初予算について
- (3) 市民の皆さんとの意見交換
（開かれた議会について）

申込方法

市庁舎新館1階総合案内、議会事務局、各総合支所総務課及び各公民館に備え付けている申込書により申し込みを行ってください。

※当日受付も可能です。



参加予定議員

○東会場（15名）

真鍋顕伸、佐伯利彦、高橋 保、藤井武彦、三好和彦、黒川理恵子、山地美知一、坪井 剛、西坂 壽、高橋章哲、武田 功、一色輝雄、楠 學、伊藤新平、伊藤孝司

○西会場（15名）

佐々木充、城戸 力、今井廣一、井上浩二、御莊秀樹、岡村重治、越智絹恵、川又由美恵、行元 博、臼坂 均、越智俊幸、青野貴司、児玉千春、堀江幸二、藤田節雄

みんな来てんよ！

西条市議会
マスコットキャラクター
みずぎ議員

編集後記

本号では、平成30年2月臨時会及び3月定例会の審議内容を中心に編集しました。

また、本号から新しい編集委員会による編集となりました。委員一同、意を新たに市民に親しまれる市議会だよりを心がけ、編集に努めて参ります。

これまで同様、ご愛読いただきますようお願い申し上げます。



市議会だより編集委員会

委員長 行元 博
副委員長 武田 功
委員 岡村 重
越智 絹恵
青野 貴司
一色 輝雄
堀江 幸二
藤田 節雄
伊藤 孝司